



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

97.5.1 No.4589

—メーデーにあたって—

国鉄闘争の勝利のなかから労働運動の戦闘的再生をかちとろう

五月一日のメーデーをむかえるにあたり、われわれは労働運動の真価のかかった時代の只中で、国鉄闘争勝利を突破口に労働運動の戦闘的再生をかちとる決意を改めて確認しようではありませんか。

メーデーは、その時代時代の中で労働者の直面する課題を掲げ、組織された労働者の隊列を資本・反動勢力のまえに登場させる、闘いの場となってきました。これは総評労働運動の時代においても、春闘につづいて労働者の結集と団結力を誇示する場として闘いとられてきました。ところが国鉄分割・民営化の強行と国鉄労働運動の解体攻撃、それに続く総評解散・連合結成はメーデーから労働者の闘いと団結という最も重要な課題を放棄してしまいました。一方で労働者をとりまく状況は、「過労死」という言葉が海外にまで通用するほどになり、さらに「リストラ」などの労働者に対する首切り、合理化の嵐が吹き荒れ、

一気に大失業攻撃の中にたたき込まれました。この流れは橋本内閣のもとでは、「行革・規制緩和」の名のもとに、戦後労働法制から社会保障制度の抜本的改悪に進もうとしています。これまで営々として積み上げてきた労働者の闘いの成果を一気に剥脱し、全労働者を再び生活破壊と権利剥脱にたたきこもうとしています。今、世界中でこうした生活破壊の攻撃に対して労働者の荒々しい怒りの声とストライキ・デモの嵐がまき起こっています。日本においてもこうした怒りの決起は不可避な情勢を迎えています。国鉄闘争こそが、安保・沖縄闘争とともに、こうした労働者の闘いの結集軸になりうるのです。

第一波、第二波スト二十八名全員の公労法解雇撤回の勝利につづき、清算事業団闘争勝利にむけて全力で闘い、その中から労働運動の新たな時代を切り開くために、闘いぬこう！

28名に続き事業団闘争に勝利しよう

世界中で生活破壊・権利は奪にスト・デモの嵐

四月二十六日、動労千葉サークル協議会及び家族会主催によるボウリング大会が、千葉市・アサヒボウルにおいて、組合員・家族六〇名が集い開催され、日頃の腕自慢を競いあいました。ボウリング大会は、ストライクが連続する高レベルのゲームとなり、いすみ支部の田中さんが二五七点のハイゲームを出し、三ゲームトータルでも他を寄せ付けず六七三点で優勝しました。家族会の皆さんも、お父さんたちに元気一杯の応援を送るなど楽しい一日となりました。各支部の皆さん、ご苦勞様でした。ボウリング大会の結果は次のとおりです。



【写真】ボウリング大会終了後、入賞者を囲んで記念撮影

サークル協・家族会主催 ボウリング大会

●個人戦 (三ゲームトータル)				●団体戦 (三名×二ゲームトータル)			
順位	氏名	支部	点数	順位	支部名	点数	
一位	田中 廣 胖	いすみ	六七三点	一位	京 葉	一〇九八点	
二位	市原 博 昭	京 葉	五九六六点	二位	い す み	一〇五八点	
三位	山 田 護	幕 張	五五〇点	三位	幕 張	九八六六点	
四位	宇田川 一 夫	"	五三九点				
五位	小 柴 光 一	千 葉 転	五三二点				
六位	高 沢 成 夫	津 田 沼	五二六六点				
HG	田 中 廣 胖	い す み	二五七点				